



第7回 春のウォーキング2018

—大震災・大規模災害復興支援プログラム—

今回の春のウォーキング2018では、堀川運河沿いの約2時間の街歩きをします。納屋橋、五条橋はじめ堀川7橋を歩きます。合わせて東日本大震災や熊本地震といった自然災害に今なお苦しむ子どもたちやその家族への復興支援と私たちにできることに思いを馳せる機会としたいと思います。桜の開花と一緒にウォーキングしてみませんか

日時：**2018年3月24日（土）** 小雨決行

集合・出発：**午前10時（所要時間：約2時間）**

地下鉄名城線・名鉄線・JR東海道線、中央線 金山駅南口 広場（ホテルラコト側）

対象：どなたでもご参加いただけます 部分参加も可、幼児以下の方は保護者同伴が必要です

持ち物：飲み物、タオル、服装など 天候にあわせ、各自で必要と思われるものをご用意ください

参加費：1,000円 / 個人・1家族

仙台・盛岡・熊本YMCAによる東日本大震災・熊本地震の被災地復興支援活動に寄付いたします

お申込み：名古屋YMCAボランティアセンター 3月22日（木）まで

（電話） 052-757-3331 （FAX） 052-757-3332

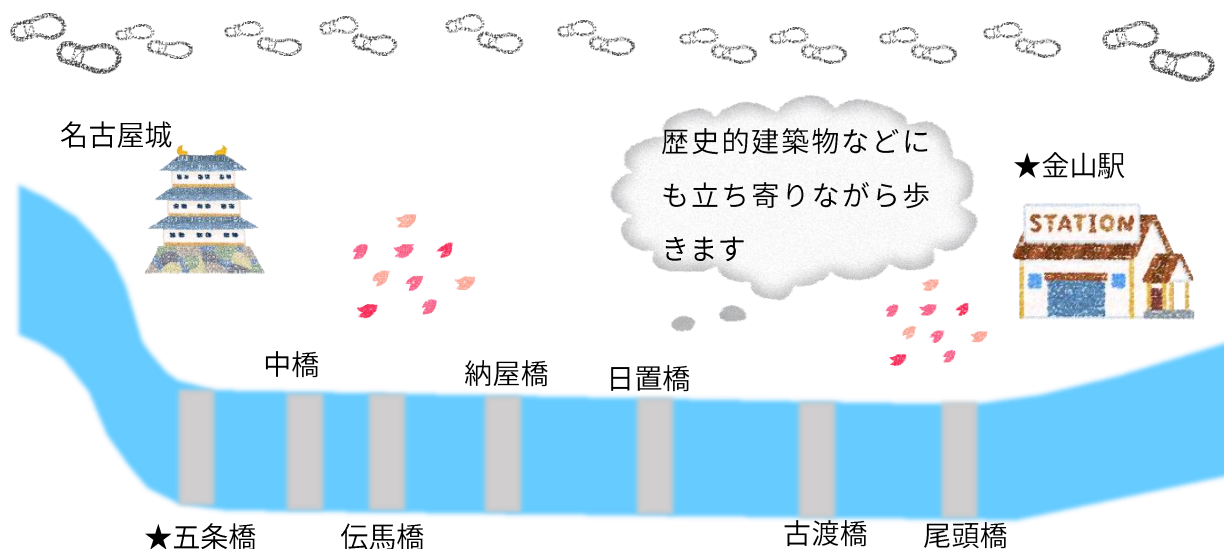


—ともに、歩く

「私たちにできること」

「名古屋のまちづくり」

思いを馳せ、語り合う。そんな時間をともにすごしませんか？



ウォーキングコース（金山駅南口：尾頭橋～名古屋城～五条橋 約5km）
 ★スタート：名城線金山駅南口⇒尾頭橋（佐屋路分岐）⇒古渡橋⇒日置橋⇒
 納屋橋（織田、豊臣、徳川、福島の家紋）⇒伝馬橋（飯田街道分岐）
 ⇒中橋⇒五条橋（美濃路分岐）⇒★ゴール

（ゴール五条橋の最寄駅：地下鉄桜通線・国際センター駅）

堀川は

「清洲越し」によって名古屋台地の北西端に誕生した名古屋城と名古屋の町は熱田の浜からは離れた内陸部でした。城下で必要な米や野菜、魚、塩などの物を大量に輸送できるのは船しかありませんでした。このため築城と同じ慶長1年に、福島左衛門大夫正則により、海に面した熱田と名古屋城下を結ぶ川が名古屋台地の西側に沿って掘られました。名古屋城西の幅下から熱田までの長さ1里半（約6キロ）、幅12～48間（約22～87m）の堀川の誕生です。堀留（上流端）は名古屋城外堀にもうけられた辰の口（排水口）と水路で繋がり、お堀の水が川に流入していました。

※開催について、当日午前8時ごろに名古屋YMCAホームページ「新着情報」欄にてお知らせいたします。

※当日の怪我、事故、体調不良等については、団体障害保険による以外は責任を負いかねます。ご了承ください。

○お申込み・お問い合わせ○

公益財団法人名古屋YMCA

ボランティアセンター

〒464-0848 名古屋市千種区春岡1丁目2番7号

電話：052-757-3331

FAX：052-757-3332

